きれいな色が出ない場合の確認項目

以下の項目を順に確認してください。

【プロッタ側での確認事項】

1．グラフテック純正の用紙とインクを使用していますか。

純正以外の用紙やインクを使用すると、色が濁ったり薄かったり正常に表現できない場合があります。Signalize！RIP から送られるデータは、グラフテック純正の用紙とインクに合わせて色調整されているため、純正以外のものを使用すると正常な色が出ない場合があります。純正の用紙とインクを使用してください。

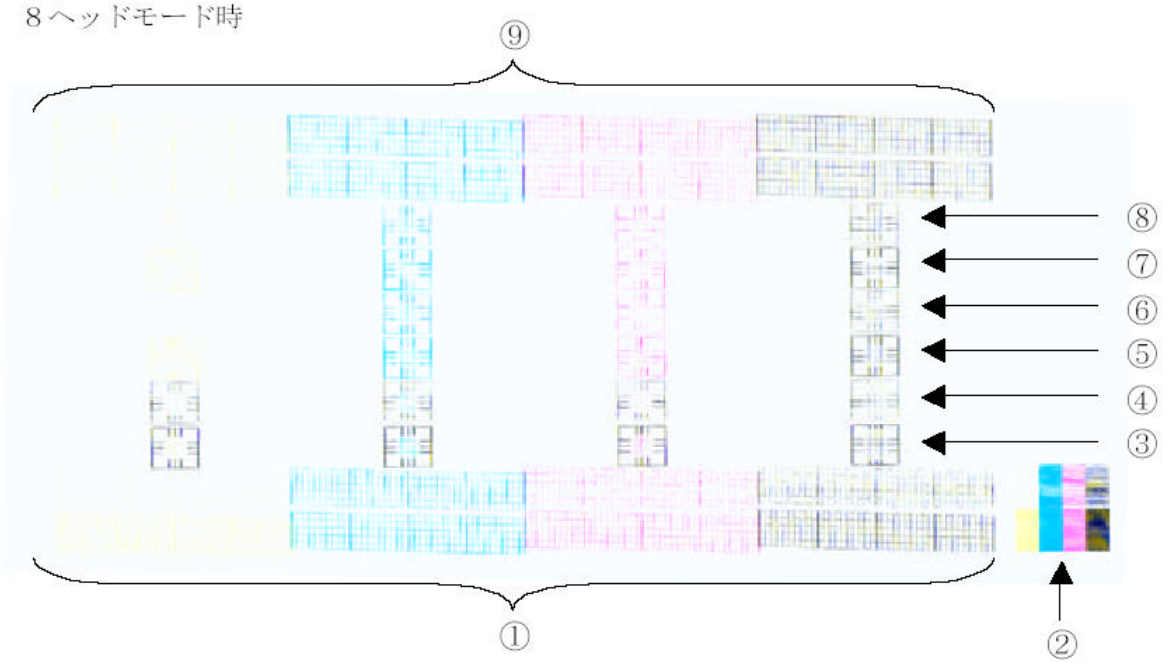
2．チョウセイカクニンを実行してください。《取扱説明書「9.5 チョウセイカクニン」を参照 》

チョウセイカクニンの印刷結果を参照し、インク詰まりが発生している場合（①で印刷していない線がある場合）は３に進んでください。

ズレが生じている場合（③④⑤⑥⑦⑧にズレが発生している場合）は、４に進んでください。

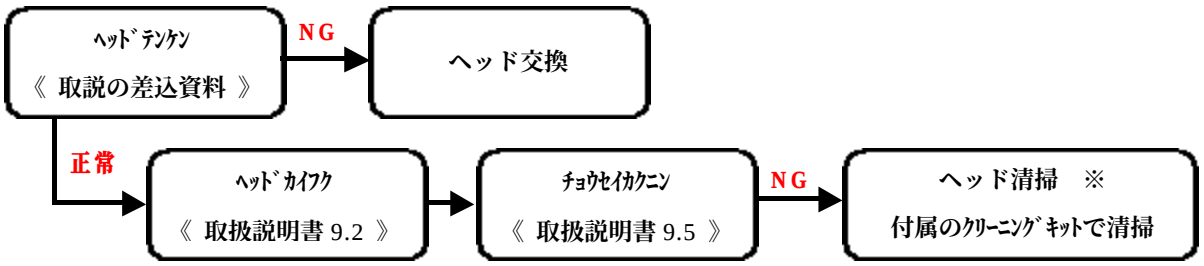
ズレもインク詰まりもある場合は、３と４両方を実行してください。

８ヘッドモード時



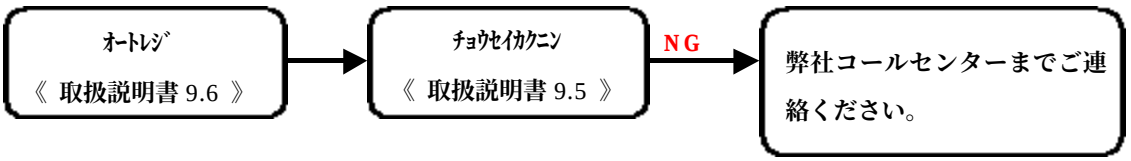
① １ドット線を印刷して、プリントヘッドの詰まり確認する。
② 試し打ち。
③ 単方向でのブラックヘッドに対しての各プリントヘッドの位置ズレを確認する。（Bヘッド）
④ 単方向でのブラックヘッドに対しての各プリントヘッドの位置ズレを確認する。（A ヘッド）
⑤ 双方向でのズレを確認する。（Bヘッド）
⑥ 双方向でのズレを確認する。（A ヘッド）
⑦ 単方向での A ヘッドと B ヘッドのズレを確認する。
四角を B ヘッドで印刷し、中を A ヘッドで印刷している。
⑧ 単方向での A ヘッドと B ヘッドのズレを確認する。
四角を A ヘッドで印刷し、中を B ヘッドで印刷している。
⑨ マルチパス印字でのズレの確認する。

3．以下のフローチャートにしたがって操作、確認を行ってください。



※電気接点の清掃方法については、取扱説明書「B.2 電気接点クリーニング」を参照してください。尚、電気接点クリーニングを実施する際にプロッタからプリントヘッドを取り外す方法については取扱説明書「A.1-2 プリントヘッドの取り外し」と訂正紙の 7 ページからを合わせて参照してください。）

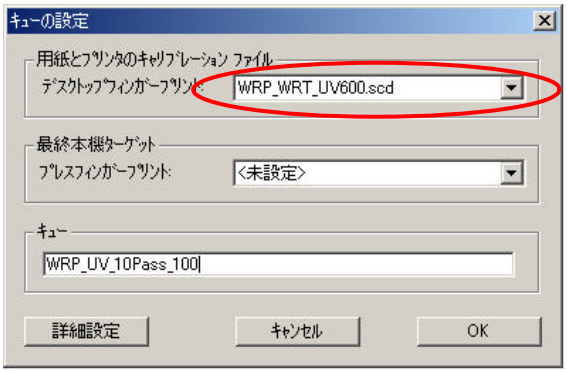
4．以下のフローチャートにしたがって操作、確認を行ってください。

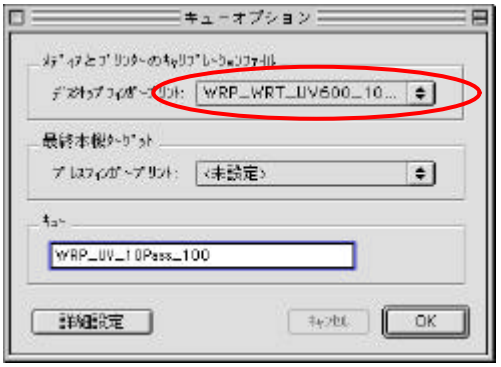


【Signalize 側での確認事項】

1． キャリブレーションファイルを確認

Signalize！Production で使用するキューを選択し、ファイルメニューから「キュー」→「設定」を選択してください。「用紙（メディア）とプリンタのキャリブレーションファイル」の欄が、使用している用紙とインクが選択されているかどうか確認してください。

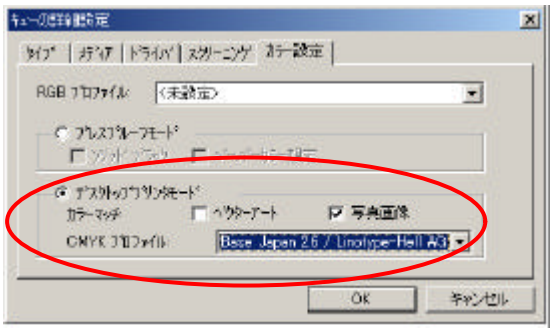


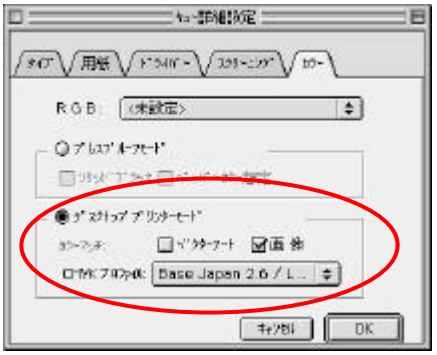


2． ターゲットファイルを確認

「詳細設定」をクリックして「カラー設定（カラー）」のタグをクリックしてください。

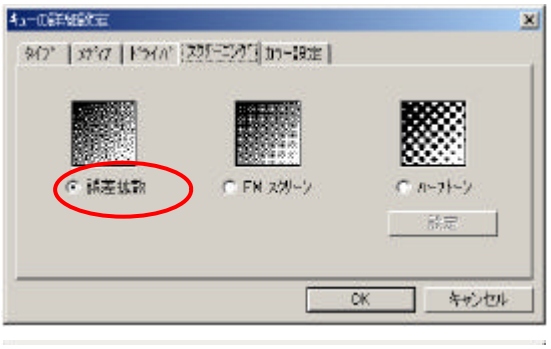
「デスクトッププリンタモード」と「写真画像」にチェックが入っていることと CMYK プロファイルが「Base Japan」になっていることを確認してください。





3． スクリーニングを確認

「スクリーニング」のタブをクリックして、「誤差拡散」にチェックが入っていることを確認してください。



4．プリントモードを確認

「ドライバ」のタブをクリックしてください。

DPI,pass,dir 欄の 2 番目の数値（下図では”12”）を確認してください。数値が大きいほど画質が向上して作図に時間がかかるようになります。逆に小さいほど印刷速度は速くなり画質が低下します。